春日居小学校
プール付属施設改修工事

笛吹市

統番	図面番号	図面名称	縮尺
1	A－01	表紙	No Scale
2	A－02	特記仕様書	No Scale
3	A－03	案内・配置図	1:1000
4	A－04	平面図（プール）	1:100
5	A－05	平面図（付属棟）	1:50
6	A－06	屋根伏図（付属棟）	1:50
7	A－07	立面図（付属棟）	1:100
8	A－08	断面図（付属棟）	1:20
9	A－09	平立面図（管理棟）	1:50
10	E－01,02	電気設備改修平面図（付属棟）、照明器具表	1:50
11	M－01	機械設備改修平面図（付属棟）	1:50

春日居小学校　プール付属施設改修工事

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1	工事名称	春日居小学校　プール付属施設改修工事
2	工事場所	山梨県笛吹市春日居町桑戸664
3	主要用途	小学校(プールサイド、管理棟、付属棟)
4	主要構造	コンクリートブロック造（付属棟）
5	工事の概要	主にプールサイド及び、プール付属建物の改修

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」、　（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は，「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「標準仕様書」という。）による。
　なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
　1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の＜　＞、（　）内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3．施工基準
　本工事は下記により完全に施工するものとする。
　　建築基準法、　消防法、　その他関係政省令、　監督職員の指示事項

4．一般事項
　1）提出書類の適用基準類は以下とする。（作成・納品の基準、納品する資料の範囲等）

⊙ 工程表	⊙ 施工計画書	・ 設備機材等選定表	・ 機器類製作図
⊙ 施工図面	⊙ 工程写真	⊙ 完成写真	⊙ 試験成績表
⊙ 保証書類	⊙ 取扱説明書	⊙ 完成図面	⊙ 納品書
⊙ 工事日報	⊙ 機器類完成図	⊙ 届け出書類等の控え	

　2）工事進捗状況報告書を提出（毎月１回月末）し、インターネットでの提出も可とする。
　3）火災保険の加入期間は、工期に１４日以上の日を加えた日までとする。
　4）グリーン購入法に基づき、基本方針で指定された品目については、判断基準による仕様を満足すること。
　5）高度技術・創意工夫・社会性等実施状況について、請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。
　6）適正な下請負契約を確認するため、下請負届を提出する場合は次の書類を添付すること。
　　a　下請負契約書（請書等）の写し（元請負額が500万円以上）
　　b　下請負業者の建設業許可書の写し（下請け金額が建築は1,500万円以上）
　　c　下請負業者における「指定建設業監理技術者資格証」の写し
　　（下請け金額が建築は1,500万円以上）

5．工事範囲
　設計図書、現場説明及び工事契約書による。

6．特記事項
　1）工事中は体育館動線と交わるため、簡易通路を検討するなど児童生徒に十分配慮すること。
　2）本設計図のうち、外部足場は施設の状況、作業方法により変動するため設置位置については図面等に記入の寸法・形状は参考とする。
　3）高所作業を伴うので、必要に応じて作業上での安全及び周囲への安全の配慮のための仮設工を行い、又これらは関係者と充分協議して決定する。
　4）施設は通常運営中であるため、施設の通常業務に支障が無いよう配慮すること。
　5）耐風圧固定強度は建築基準法の基準風圧力を十分満足する仕様とし、耐風圧固定強度計算書を監督員に提出の上、施工前に承認を得るものとする。
　6）耐風圧を考慮した引抜き強度は下記によるものとする。
　　※アンカー引抜き基準強度　ＲＣ：3,500N/本　以上
　　引抜き試験：各屋根３箇所　以上
引抜き試験は本工事に含むものとし、試験は監督員立会いのもと行うものとする。
引抜き試験結果により機械的固定工法の固定ピッチを決定し、詳細図を提出すること。
なお、引抜き試験が基準強度に満たない場合は監督員と協議する。
　7）塩ビ防水シートはポリエステルクロス同等の品質を確保するとともに、過度の引張力を加えないこと。補強材の使用等で強度が確保できる場合は、同等とみなすこともできる。
なお、固定盤・固定鋼板・脱気筒等はメーカーの推奨する製品を使用すること。
　8）保証期間は１０年以上とする。なお、開始日は引き渡し日からとする。

7．共通事項
　1）共通費実態調査
本工事は、請負者による営繕工事の実施状況を費用の面から把握し、発注者における工事積算に積算に適切に反映することを目的とした、共通費実態調査の対象工事である。
尚、調査票は、監督職員から配布するものとする。
　2）産業廃棄物
本工事で発生する産業廃棄物は適正に処分すること。
また、建築副産物実態調査の対象工事であるため、請負者は「建築リサイクルデータ統合システムーＣＲＥＤＡＳ」により、再生資源利用計画書等を作成し、電子データをＦＤ等により監督職員に提出すること。

8．補足事項
　1）本工事に使用する建設機械は「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
　2）暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除
　　a　請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合はその旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い捜査上必要な協力を行うこと。
　　b　この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。
　　c　請負者が（ａ）の報告等を怠った場合は、「笛吹市建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。
　3）不正軽油使用の排除
　　a　請負者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。
　　b　請負者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合にはその調査に協力しなければならない。

9．主任技術者又は監理技術者の選任について
　1）請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間：工事始期日以降30日以内）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。
　2）工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「完成検査結果通知書」等における日付）とする。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
一般共通事項	① 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
	② 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　最新版） ⊙ 建設大臣官房官庁営繕部監修の工事写真の撮り方（改定第２版）
	④ 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負額が500万円以上の場合）　<1.1.4> 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 （請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ） ・ 適用しない　<1.3.10>
	⑦ 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，事故報告書を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑧ 建築材料等	環境への配慮　<1.4.1> ※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 普通合板，複合フローリング等　：日本農林規格(JAS)Ｆ☆☆☆ パーティクルボード，MDF（中質繊維板）：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆ クロス類　：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆ 内装工事に使用する塗料及び接着剤　：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン 材料の品質等　<1.4.2> ※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。
	⑩ 特別な材料の工法	「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	12. 設計ＧＬ	・ 図　示　　※ 現状平均地盤高
	⑬ 技能士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　<1.6.2> ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。

適用工事種別	適用技能士検定職種（作　業）
以下の該当工事	⊙ 該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋工事作業）
コンクリート工事	・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・ とび（とび作業）
防水工事	⊙ 防水施工（ ・ アスファルト防水工事作業 ⊙ 合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙ 塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ）
木工事	・ 建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	・ 建築板金（内外装板金作業） ・ スレート施工（石綿スレート工事作業） ・ かわらぶき（かわらぶき作業）
金属工事	・ 内装仕上施工（鋼製下地作業）
左官工事	・ 左官作業
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙ 内装仕上施工（ ・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ ボード仕上工事作業 ・ カーテン工事作業　）

　技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。　<1.8.1><1.8.2><1.8.3>

⑮ 完成図等	完成図書作成・提出要領（山梨県基準・規定）により作成する。	
⑰ 設備工事との取合い	施工範囲	各工事の区分表による。
	施 工 図	設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
2 仮設工事	① 仮囲い	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・成形鋼板（H=　）　・波形鉄板（H=　）　※バリケード ・キャスターゲート（H=　，W=　）×　　箇所 ・ 設けない
	2. 交通誘導員	※ 配置する（資材搬出入時）
	③ 工事表示板	※ 設置する　　設置枚数　１枚
	④ 足場その他	内部足場　※ 脚立、足場板等　<2.2.1> 外部足場　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種 <表2.2.1> 防護シート　※ 設ける　・ 設けない 材料の運搬　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　<表2.2.2> ・ Ｄ種　※ Ｅ種 昇降用くさび緊結式足場を設ける。 外部足場を設ける場合は，「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	7. 監督職員事務所	・ 設ける　⊙ 設けない
	⑧ 工事用水	構内既存の施設　⊙ 利用できる（・ 有償　・ 無償） ・ 利用できない
	⑨ 工事用電力	構内既存の施設　⊙ 利用できる（・ 有償　・ 無償） ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く ・ 利用できない
	⑩ 工事用通路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）

章	項　　目	特　　記　　事　　項
3 防水改修工事	1. アスファルト防水	改修工法の種別　<3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3? 10> 新規防水層の種別 ／ 改修工法の種別 ／ 施工箇所 A-2 ／ ／ 基礎廻り床 A-2 ／ ／ 基礎立上り アスファルトの種類　※ ４種　<3.2.2> 脱気装置　・ 設ける　・設けない　<3.3.3> 種　類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.3.2><3.3.5>
	2. 伸縮調整目地	※ 成型伸縮目地（天端　ＥＰＴゴム，サイド　ブチルゴム製）
	3. 改質アスファルトシート防水	改修工法の種別　<3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1? 2> 新規防水層の種別 ／ 改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 仕上塗料 AS ／ PIAS ／ 基礎廻り床 ／ ※ カラー AS ／ ／ 基礎立上り ／ ・打合せによる 脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　<3.4.3> 種　類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	④ 合成高分子系ルーフィングシート防水	改修工法の種別　<3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1> 新規防水層の種別 ／ 改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 仕上塗料 S-M2 ／ 機械固定工法 ／ 平場(付属棟) ／ ※ カラー S-F2 ／ 接着工法 ／ 立上(付属棟) ／ ・打合せによる S-M2 ／ 機械固定工法 ／ 平場(管理棟) 脱気装置　⊙ 設ける　・ 設けない　<3.5.3> 種　類　・ 平面部脱気型　⊙ 立上り部脱気筒　型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	5. 塗膜防水	改修工法の種別　<3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1> 新規防水層の種別 ／ 改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 仕上塗料 X-2 ／ 環境対応型水硬化ｳﾚﾀﾝ ／ 基礎天端 ／ ※ カラー ・打合せによる 脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　<3.6.3> 種　類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	⑥ シーリング材料の種別及び施工箇所	<3.7.2><表3.7.1> ※ 被着体に応じたものとし、改修標仕表３．７．１を標準とする。 ・ 改修標仕表３．７．１によらない箇所及びシーリング材料 改修標仕表３．７．１によらない箇所 ／ シーリング材料 端末処理 ／ 変成シリコーン系
	7. シーリング改修工法	改修工法の種別　<3.1.4? 7><表3.1.2> 改修工法の種類 ／ 施工箇所 ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法

章	項　　目	特　　記　　事　　項
19 塗装改修工事	①. コンクリート面他の素地ごしらえ	コンクリート面及びその他ボード面の素地ごしらえ　<19.1.9> １．乾燥 ／ 素地を十分乾燥させる ２．汚れ、付着物除去 ／ 素地を傷付けないよう除去する ３．下地調整塗り ／ 全面に塗り付けて平滑にする ４．研磨、ケレン ／ 乾燥後、表面を平らに研磨する ・プールサイドはクラック処理（VカットまたはUカット補修後、ウレタンコーキング処理とする。 ・プールサイド目地は既存コーキング撤去後、新規打設する。
	②. 塗装仕様	プールサイド塗装 工　程 ／ 適　用　箇　所 １．素地ごしらえ ／ 上記参照 ２．前処理 ／ 上記参照 ３．下塗り ／ モルタル用プライマー+ポルトランドセメント ４．補修塗り ／ 不陸調整 ５．中塗り ／ 遮熱工法 ６．上塗り ／ 遮熱工法 ・プールサイドは遮熱工法、防滑仕上げ以上とする。 ・材料はF☆☆☆☆仕様とする。 プールサイド塗料メーカーリスト 品　名 ／ 製　品　名 ／ メーカー プールコート ／ プールコートタープ ／ 大同塗料 プールエース ／ プールエースクッション遮熱 ／ 日本特殊塗料 上記以外のものについては施工承認とする。 ・塗装色はサンプル提出後、協議の上、決定するものとする。 ・プール本体、ラインの塗装は平面・詳細図等参照。

Ⅲ　電　気　設　備　仕　様

1．電気設備
　本改修工事に伴い、天井照明及び施設の電気改修工事、ウォシュレット用コンセント（100V400W程度）の新設・撤去を行う。また、配線のための天井復旧及び穴あけ補修は本工事とする。
　本設備工事は、特記仕様書、設計図によると共に、下記、基準に準拠し、完全に施工するものとする。
　公共建築工事標準仕様書・標準図（電気設備工事編）、建築基準法、消防法その関係法令

2．一般事項
　1）図面に特別指示もなくとも、技術上、構造上、当然必要と認められるものは本工事に含める。
　2）本設備工事は、当該建築物に本事項及び、施工基準に従って電気設備の一式を施工するもので、技術的に完全に行うとともに、各申請手続き費用を含むものとする。
　3）特に明示なく、監督員の協議をもとに行う軽微な変更は、請負金額の増減を行わないものとする。
また、細部においては、協議の上、決定するものとする。

3．特記事項
　1）防火区画、防火上主要な間仕切りを貫通する箇所は適切な処置を施すこと。
　2）配線器具、照明器具はＪＩＳ規格をしようするものとし、プレートは樹脂製または金属製とする。コンセント等の取付位置は協議の上、決定するものとする。
　3）引き渡し後、納入品または、工事の欠陥に基づく故障、事故発生に対しては、事業者の負担において遅滞なく修復し、その補償を負うものとする。

Ⅲ　機　械　設　備　仕　様

1．機械設備
　本改修工事に伴い、衛生設備改修工事、配管設備改修工事等の新設・撤去を行う。
配管のための削孔及び穴あけ補修は本工事とする。
　本設備工事は、特記仕様書、設計図によると共に、下記、基準に準拠し、完全に施工するものとする。
　公共建築工事標準仕様書・標準図（機械設備工事編）、建築基準法、消防法その関係法令

2．一般事項
　1）図面に特別指示もなくとも、技術上、構造上、当然必要と認められるものは本工事に含める。
　2）本設備工事は、当該建築物に本事項及び、施工基準に従って機械設備の一式を施工するもので、技術的に完全に行うとともに、各申請手続き費用を含むものとする。
　3）特に明示なく、監督員の協議をもとに行う軽微な変更は、請負金額の増減を行わないものとする。
また、細部においては、協議の上、決定するものとする。

3．特記事項
　1）塩ビライニング鋼管の管端部分は、管端防食継手（コア入り）を使用すること。
　2）設備配管に伴う、既存床、壁等のはつり後補修は本工事とする。
　3）衛生器具は下表を満足するものとし、色、細部取付位置は協議の上、決定するものとする。

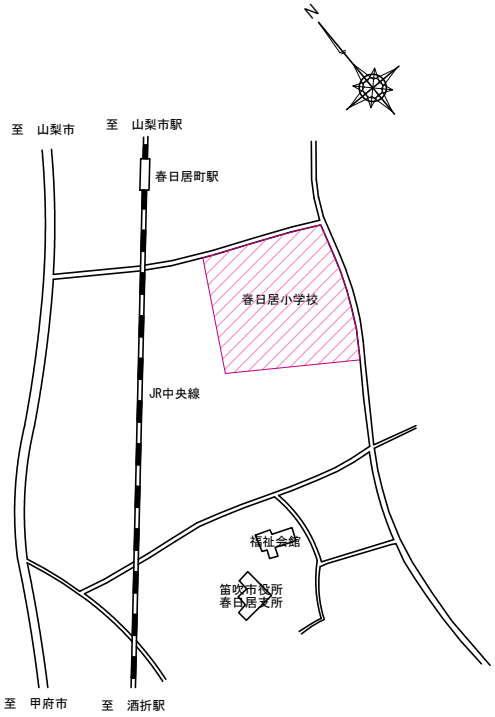
室　名	器具名	仕　　様	数
男子便所	洋風便器	CS670B,SH670BA,TCF6421,TS220FU(TOTO)同等	2
男子便所	小便器	既存品利用	5
男子便所	小便器用	T600PN,U308(TOTO)同等	5
男子便所	手すり	UAUF550R,T11BU2(TOTO) 同等	1
女子便所	洋風便器	CS670B,SH670BA,TCF6421,TS220FU(TOTO)同等	2
女子便所	流し	SK22A,TK22,T23AE20,TN114,T9RJ,T37SGEP(TOTO)	1
男女便所	紙巻器	YH64SR(TOTO) 同等	6
男ｼｬﾜｰ室	シャワー	TMHG95EC(TOTO)同等	2
女ｼｬﾜｰ室	シャワー	TMHG95EC(TOTO)同等	2
男女共通	水栓器具	T20OSNR13,TS126BDR(TOTO),PR211F(SAN-EI)同等	－

※上記は、参考とし同等以上の性能を有するものとすること。
※材料承認を提出の上、監督員の承諾を得ること。

種　別	仕　様	備　考
換気扇　20cm	壁取付型　200φx540m3/h	EX-20EH5(三菱)同等
換気扇　25cm	壁取付型　250φx900m3/h	EX-25EH5(三菱)同等
換気扇防雨カバー	防火ダンパー付	木枠、SUS製、ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ共

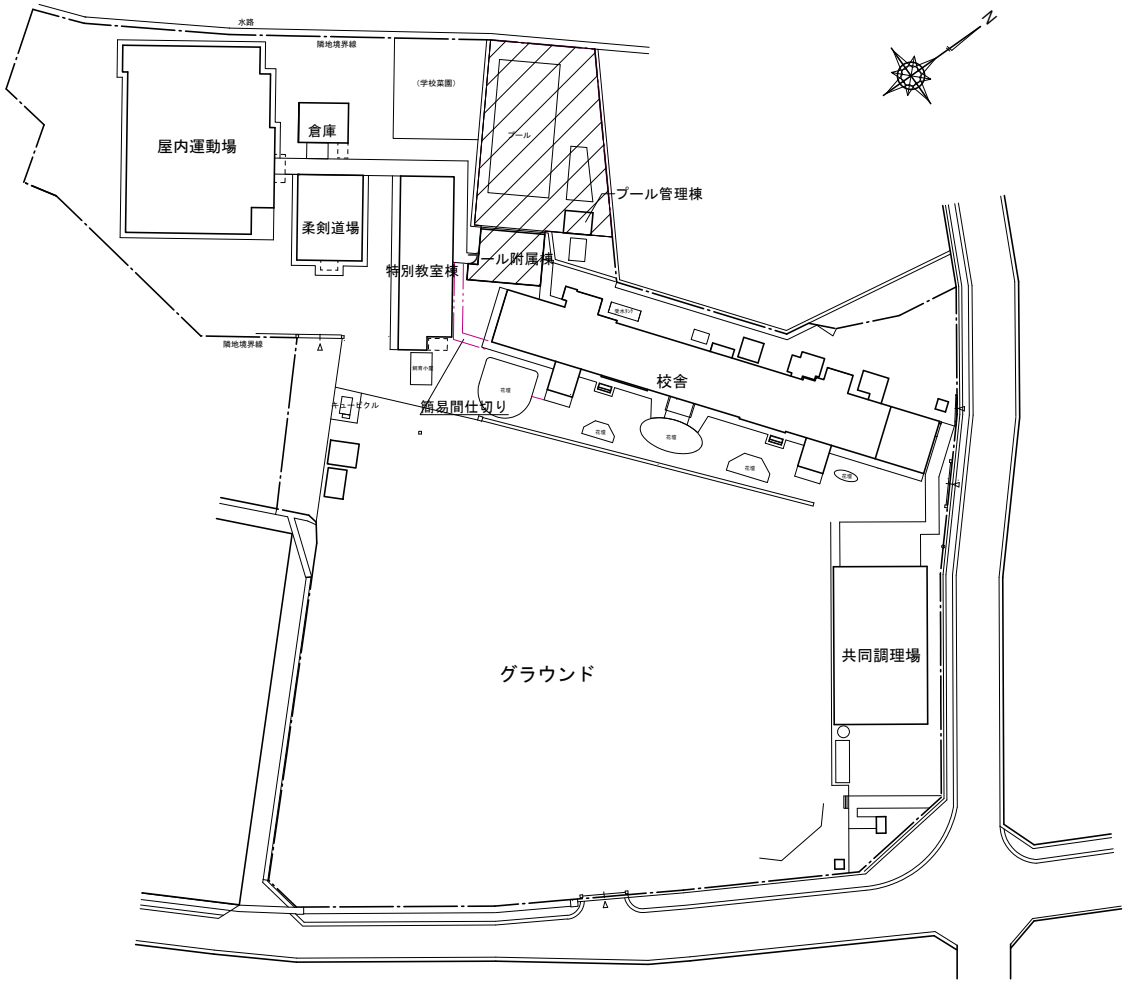
特　記	1
	2
事　項	3

承認	所長	担当	設計	縮　尺	工事名称	春日居小学校プール付属施設改修工事	A-02
				Non Scale	図面名称	特記仕様書	
				原版用紙ｻｲｽﾞ A3ｻｲｽﾞ			



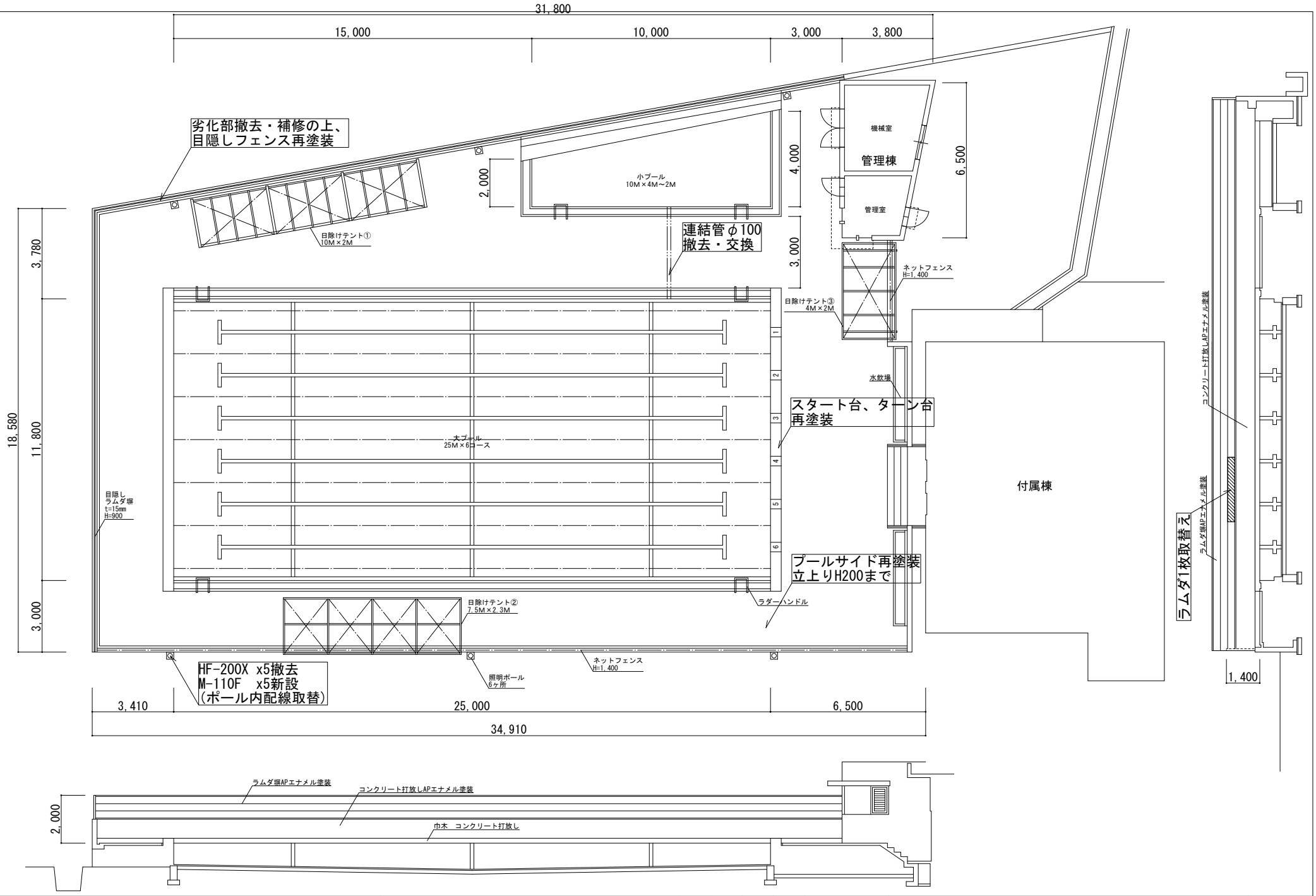
案内図

工事場所：山梨県笛吹市春日居町桑戸



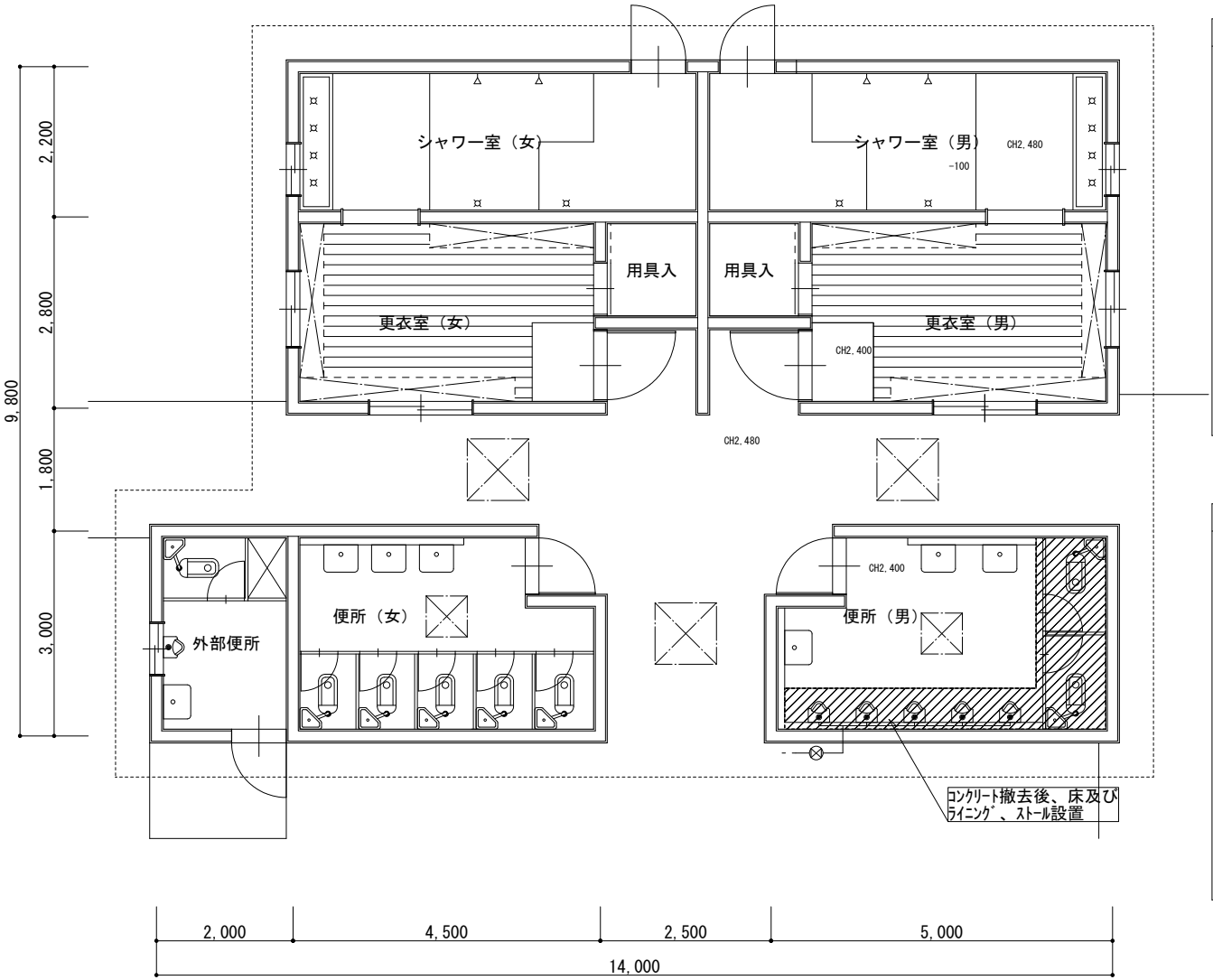
配置図　S=1：1000

特記 1		承認	所長	担当	設計	縮尺 S=No scale	工事名称 春日居小学校プール付属施設改修工事
2						原版用紙ｻｲｽﾞ A3ｻｲｽﾞ	図面名称 配置図
事項 3							A-03



特記事項 1 2 3		承認	所長	担当	設計	縮尺 S=1:100	工事名称 春日居小学校プール付属施設改修工事
						原版用紙サイズ A2サイズ	図面名称 平面図（プールサイド）

A-04



		既　存	改　修
内　部 仕上表	更衣室	床：モルタル金ゴテ仕上　スノコ数100×30@115 壁：モルタル金ゴテ仕上　一部P.B t=9mm V.P塗 巾木：モルタル金ゴテ仕上　H=100 天井：フレキシブルボードt=4mm 目透し V.P塗 備考：ビニールカーテン	床：既存スノコ撤去　システムスノコ設置300×300 壁：RC種ケレン仕上の上、壁パネル設置（接着） 巾木：そのまま 天井：天井板撤去の上、パスパネル不燃に改修 備考：ビニールカーテン撤去　ヤスリ仕上後三方枠設置
	ｼｬﾜｰ室	床：カラーモルタル防水仕上 壁：カラーモルタル金ゴテ仕上 巾木：カラーモルタル防水仕上　H=100 天井：フレキシブルボードt=4mm 目透し E.P塗 備考：洗眼槽ステンレス	床：RB種ケレン仕上の上、樹脂系塗床 壁：RB種ケレン仕上の上、防カビ塗装 巾木：RB種ケレン仕上の上、防カビ塗装 天井：天井板撤去の上、パスパネル不燃に改修 備考：備品類の移設有
	用具入	床：モルタル金ゴテ仕上 壁：モルタル金ゴテ仕上　一部P.B t=9mm V.P塗 巾木：米松0.P　H=100 天井：フレキシブルボードt=4mm 目透し V.P	床：そのまま 壁：そのまま 巾木：そのまま 天井：天井板撤去の上、パスパネル不燃に改修 備考：木製扉・窓枠・三方枠再塗装
	通路	床：モルタル金ゴテ仕上 壁：モルタル刷毛引　アクリルリシン吹付 巾木：モルタル金ゴテ仕上　H=100 天井：フレキシブルボードt=4mm 目透し V.P 備考：ＴＰ アクリドーム角90型	床：そのまま 壁：リシン撤去後、再塗装 巾木：そのまま 天井：天井板撤去の上、パスパネル不燃に改修 備考：ＴＰ 枠内再塗装
	便所	床：カラーモルタル防水仕上 壁：モルタル金ゴテ仕上　V.P 巾木：カラーモルタル防水　H=100 天井：フレキシブルボードt=4mm 目透し V.P 備考：間仕切　ベニアフラッシュ0.P 頭繋ぎSUS ＴＰ アクリドームベンチレーター付角60型	床：複層ビニル床シート 壁：RB種ケレン仕上の上、防カビ塗装 巾木：RB種ケレン仕上の上、防カビ塗装 天井：天井板撤去の上、パスパネル不燃に改修 備考：間仕切　既存撤去の上、新規ブース設置 ＴＰ 枠内再塗装
	外部 便所	床：カラーモルタル防水仕上 壁：モルタル金ゴテ仕上　V.P 巾木：カラーモルタル防水　H=100 天井：フレキシブルボードt=4mm 目透し V.P 備考：間仕切　ベニアフラッシュ0.P 頭繋ぎSUS	床：RB種ケレン仕上の上、樹脂系塗床 壁：RB種ケレン仕上の上、防カビ塗装 巾木：RB種ケレン仕上の上、防カビ塗装 天井：天井板撤去の上、パスパネル不燃に改修 備考：間仕切　ブースそのまま

		既　存	改　修
外　部 仕上表	屋根	コンクリートスラブコテ仕上 シート防水（露出、非歩行）　t=1.2mm ペイント仕上 笠木：モルタル防水金ゴテ仕上	スラブ勾配調整モルタル撤去 勾配調整モルタル改修 シート防水（機械固定工法、非歩行、断熱材）t=1.5mm 笠木：モルタル笠木撤去の上、アルミ笠木設置
	軒裏	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	リシン撤去後、再塗装
	外壁	ＣＢ　t=150mm モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付 巾木：モルタル刷毛引仕上	リシン撤去後、再塗装 配管隠し設置
	建具	アルミサッシ及びアルミドア 一部スチールドア 面格子：アルミ既製品	便所アルミドア撤去新設 便所以外のアルミドアクローザー交換 内窓枠等をRA種ケレン後、再塗装
	樋	ルーフドレイン：竪型φ75 竪樋：塩ビパイプφ75	ルードレイン：改修用ドレン設置（竪型φ75） 竪樋：塩ビパイプφ75再塗装
	渡り廊下	床：モルタル金ゴテ仕上 屋根：ルーフデッキ t=0.6mmカラー	床：そのまま 壁：リシン撤去後、再塗装 巾木：そのまま

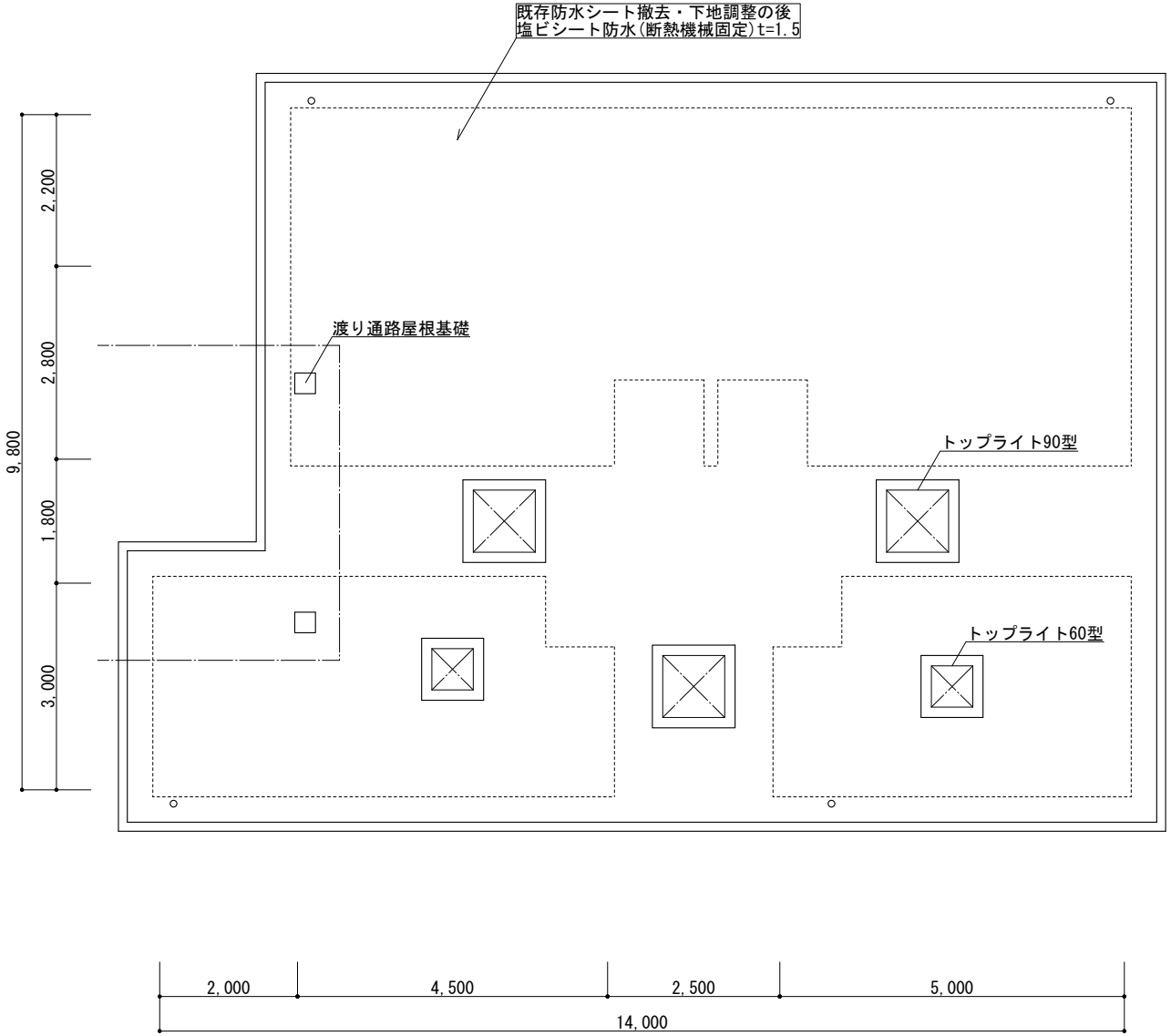
特　記　1
　　2
事　項　3

承認	所長	担当	設計

縮　尺　S=1:50
原版用紙ｻｲｽﾞ　A2ｻｲｽﾞ

工事名称　春日居小学校プール付属施設改修工事
図面名称　平面図（付属棟）

A-05



		既　存	改　修
外　部 仕上表	屋根	コンクリートスラブコテ仕上 シート防水（露出、非歩行）　t=1.2mm ペイント仕上 笠木：モルタル防水金ゴテ仕上	スラブ勾配調整モルタル撤去 勾配調整モルタル改修 シート防水（機械固定工法、非歩行、断熱材）t=1.5mm 笠木：モルタル笠木撤去の上、アルミ笠木設置
	軒裏	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	リシン撤去後、再塗装
	外壁	ＣＢ　t=150mm モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付 巾木：モルタル刷毛引仕上	リシン撤去後、再塗装 配管隠し設置
	建具	アルミサッシ及びアルミドア 一部スチールドア 面格子：アルミ既製品	便所アルミドア撤去新設 便所以外のアルミドアクローザー交換 内窓枠等をRA種ケレン後、再塗装
	樋	ルーフドレイン：竪型φ75 竪樋：塩ビパイプφ75	ルードレイン：改修用ドレン設置（竪型φ75） 竪樋：塩ビパイプφ75再塗装
	渡り廊下	床：モルタル金ゴテ仕上 屋根：ルーフデッキ t=0.6mmカラー	床：そのまま 壁：リシン撤去後、再塗装 巾木：そのまま

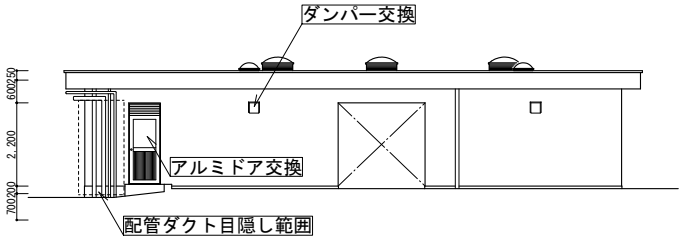
特　記　1
事　項　2
　　3

承認	所長	担当	設計

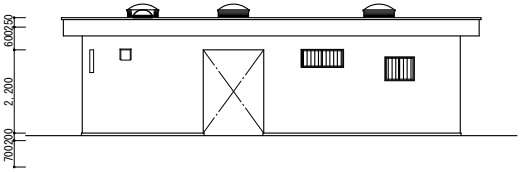
縮　尺　S=1:50
原版用紙ｻｲｽﾞ　A2ｻｲｽﾞ

工事名称　春日居小学校プール改修工事
図面名称　屋根伏図（付属棟）

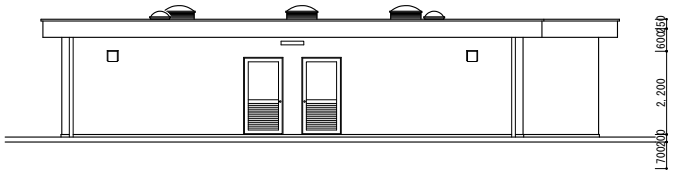
A-06



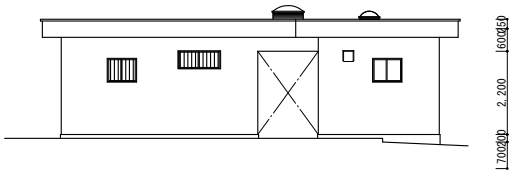
東　立　面　図



北　立　面　図



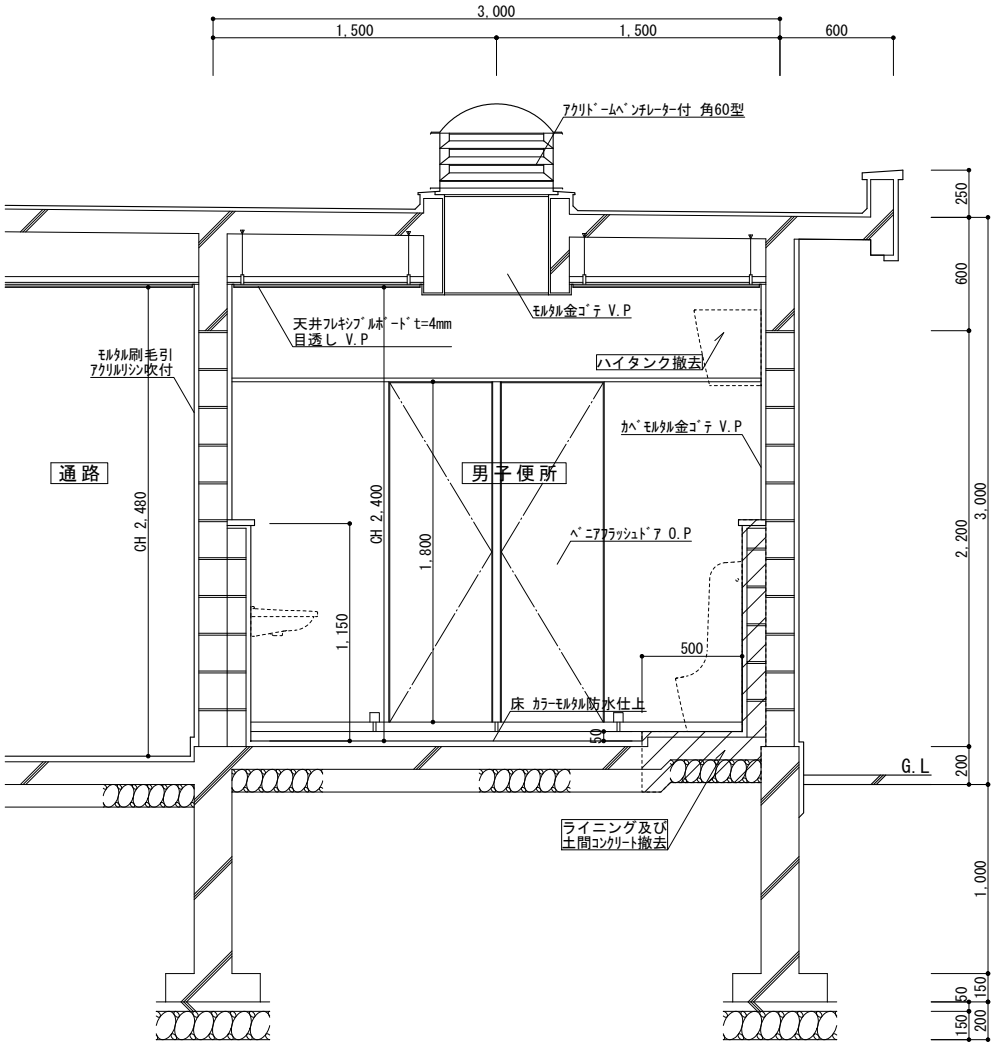
西　立　面　図



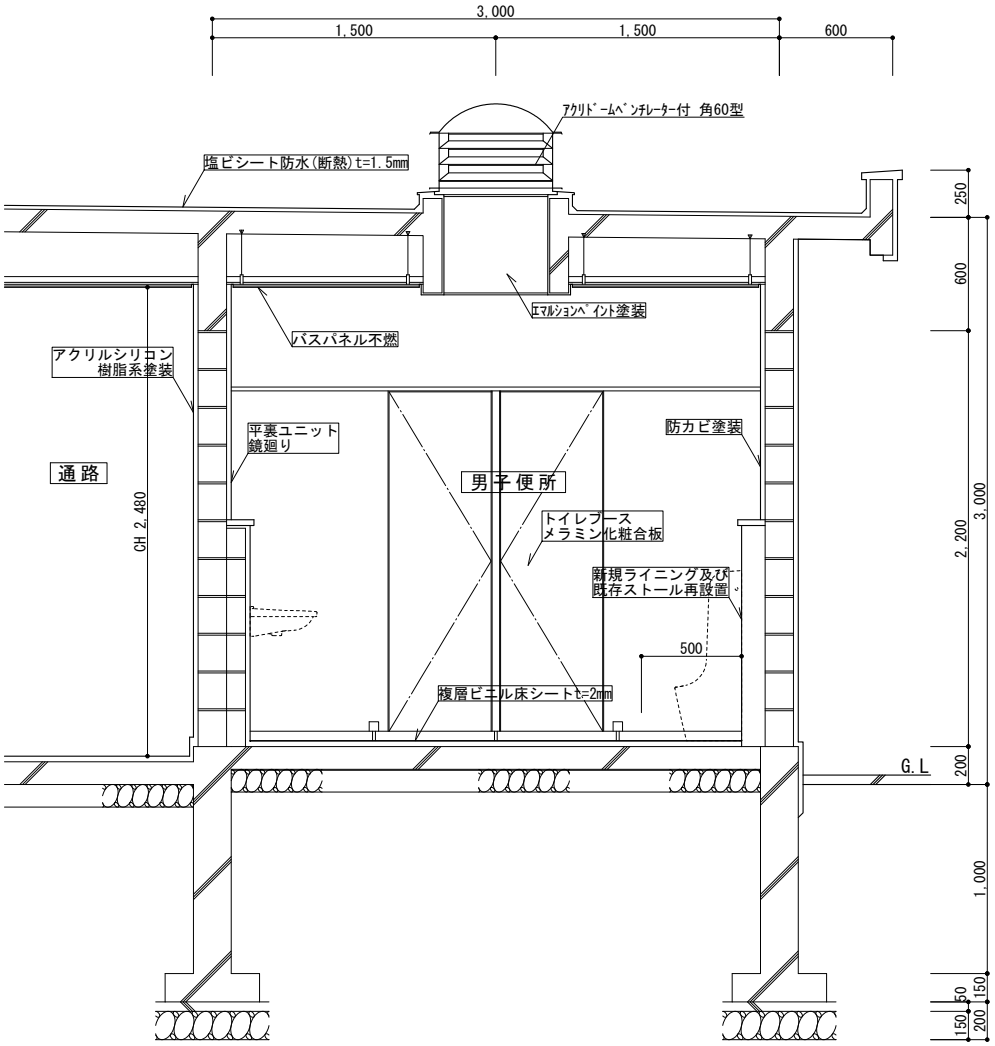
南　立　面　図

特記 1		承認	所長	担当	設計	縮尺 S=1:100	工事名称　春日居小学校プール付属施設改修工事
2						原版用紙ｻｲｽﾞ A3ｻｲｽﾞ	図面名称　立面図（付属棟）
事項 3							A-07

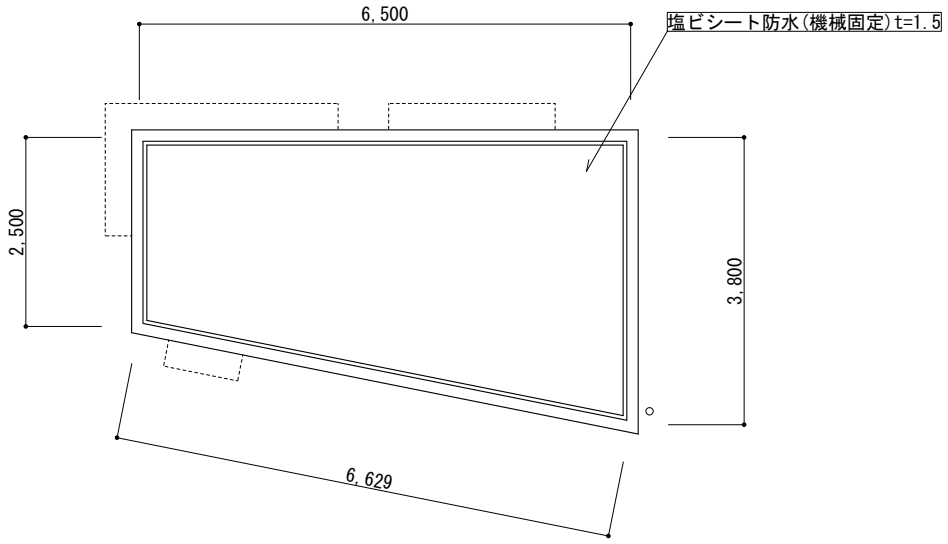
改修前



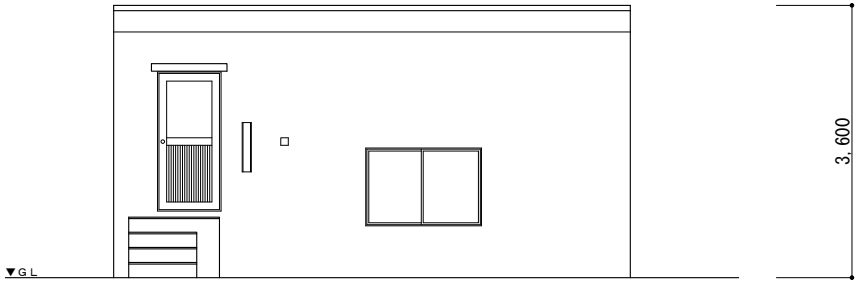
改修後



特記事項 1 2 3		承認	所長	担当	設計	縮尺 S=1:20 原版用紙ｻｲｽﾞ A2ｻｲｽﾞ	工事名称 春日居小学校プール付属施設改修工事 図面名称 断面図（付属棟）	A-08



西　立　面　図



東　立　面　図

		既　存	改　修
外　部 仕上表	屋根	コンクリートスラブコテ仕上 シート防水（露出、非歩行） t=1.2mm 笠木：アルミ笠木	既存シート防水そのまま シート防水（機械固定工法、非歩行）t=1.5mm 笠木：アルミ笠木再設置
	外壁	コンクリート打放し スタッコ仕上 ※水飲場壁面同様	高圧洗浄後、アクリルシリコン樹脂塗装
	器具類	機械室内：グラウンド散水受水槽（ボールタップ制御） とプール給水を切り替えボタンにより手動 で行っている 屋外センサー有	機械室内：プール給水をタイマー制御にすることにより、 時間帯で自動で切り替え運転が可能にする
	外部階段	スチール階段　5段（踏面200、蹴上180）	ヤスリがけ後、再塗装

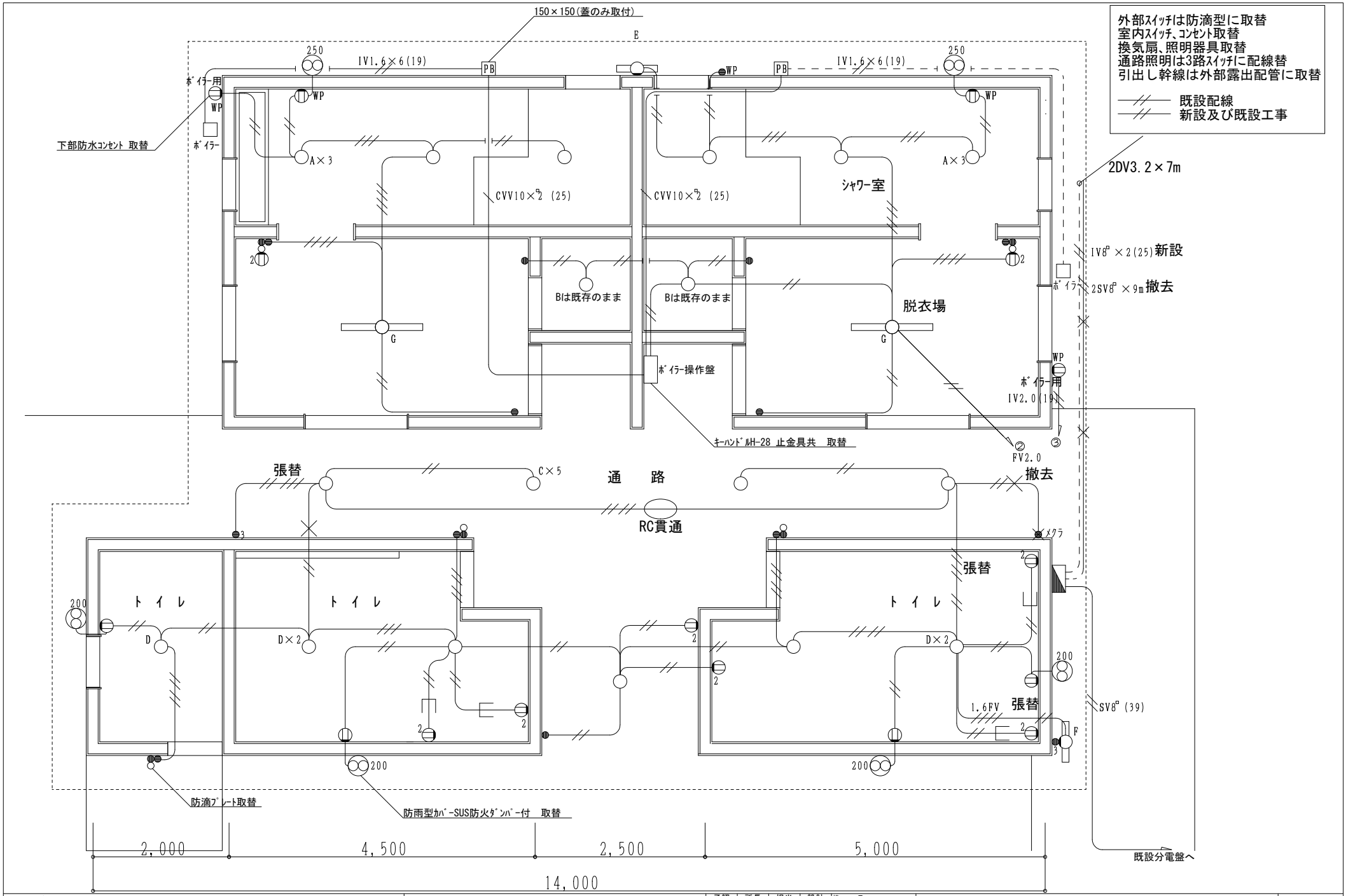
特　記　1
　　2
事　項　3

承認	所長	担当	設計

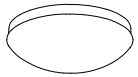
縮　尺　S=1:50
原版用紙ｻｲｽﾞ　A2ｻｲｽﾞ

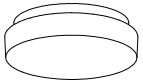
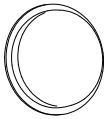
工事名称　春日居小学校プール付属施設改修工事
図面名称　平立面図（管理棟）

A-09

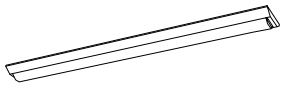


特記 1		承認	所長	担当	設計	縮尺 S=1:50	工事名称 春日居小学校プール付属施設改修工事
2						原版用紙ｻｲｽﾞ A3ｻｲｽﾞ	図面名称 電気設備改修平面図（付属棟）
事項 3							E-01

A	ＬＥＤ　100Wタイプ（防雨・防湿型）		B	ＩＬ　40W	
［参考］OW269031ND		6	既設使用		0
					

C	ＬＥＤ　100Wタイプ（防雨・防湿型）		D	ＬＥＤ　100Wタイプ（防雨・防湿型）	
［参考］OW269029ND		5	［参考］OG254311		5
					

E	ＬＥＤ　20Wタイプ（防雨型）		F	ＬＥＤ　20Wタイプ（防雨型）	
［参考］OG254099		1	［参考］OG254139		1

G	ＬＥＤ　100Wタイプ（防水型）		H	HF200Wタイプ（ｾﾗﾙｸｽｴｰｽﾗﾝﾌﾟ）	
［参考］ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ直付XL955PFVKLE9		5	［参考］M110FCLSH-WW/BH		5
 一般タイプ、４０００ｌｍタイプ 定格出力型、ボルトフリー（１００～２４２Ｖ） 本体：鋼板（白色熱硬塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：４００００時間（光束維持率８５％） 昼白色（５０００Ｋ） Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵					

特　記	1
	2
事　項	3

承認	所長	担当	設計

縮　尺 No Scale

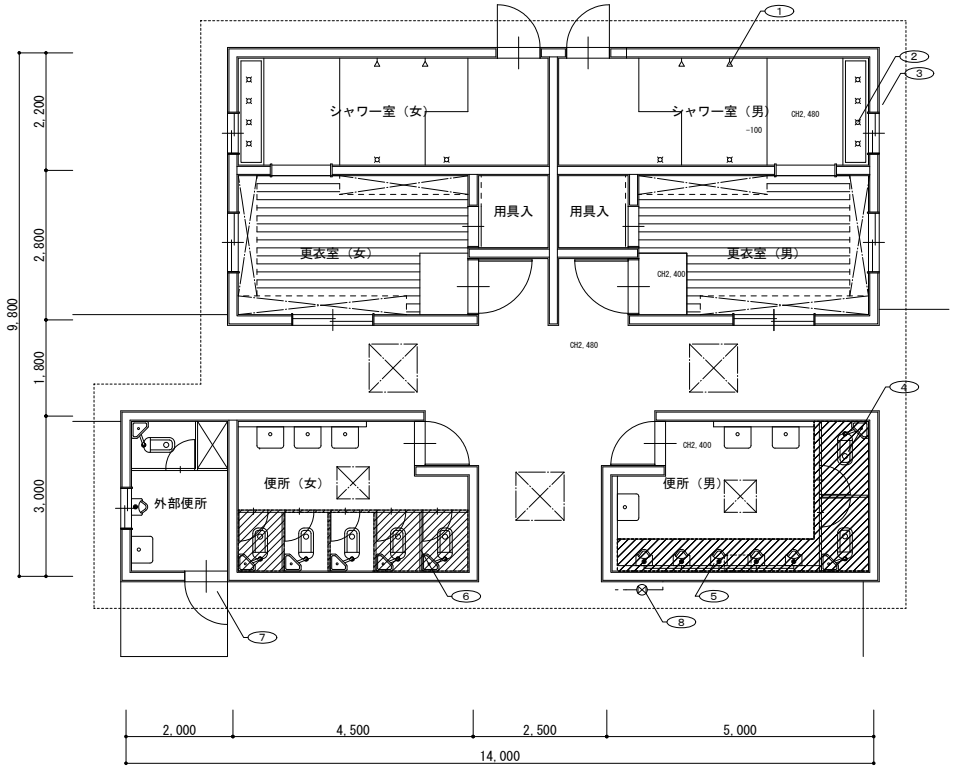
原版用紙ｻｲｽﾞ A3ｻｲｽﾞ

工事名称　春日居小学校プール付属施設改修工事

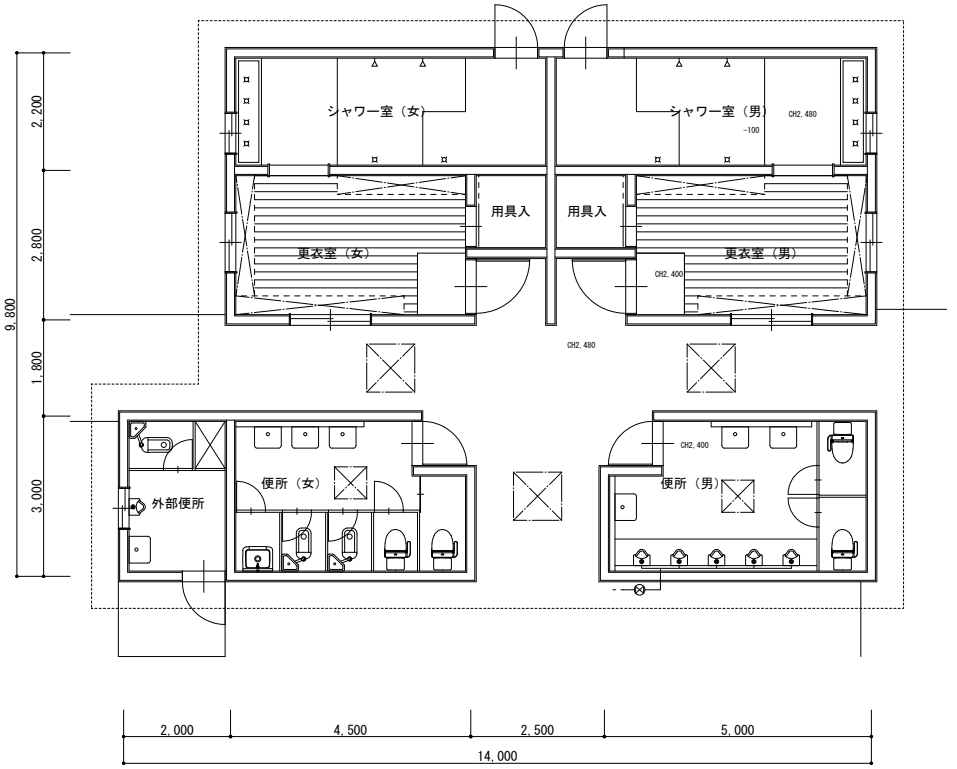
図面名称　照明器具表（付属棟）

E-02

改修前



改修後



	改修前　仕上表
床	カラーモルタル防水仕上
壁	モルタル金ゴテ仕上　V.P
天井	フレキシブルボードt=4mm 目透しE.P
備考	アクリドーム：ベンチレーター付　角60型 間仕切：ベニアフラッシュ 0.P 頭ｯｷﾅﾋﾞCｽﾃﾝﾚｽ

	改修後　仕上表
床	平滑工法 複層ビニル床シート　t=2mm（男女便所） システムスノコ（更衣室）
壁	防カビ塗装
天井	パスパネル不燃
備考	アクリドーム：そのまま（内部再塗装） 間仕切：メラミン化粧合板、ﾚｰﾙ・笠木：ｱﾙﾐ押出型材、脚金物：Ｔ型ｻﾎﾞｰﾄ、上下目板：ｱﾙﾐ押出型材、サイン：平面型ｱｸﾘﾙ板

	細部改修項目リスト
①	既存シャワー撤去、新規シャワーバー・シャワー取付。
②	洗眼水栓撤去、ホーム水洗に取替。男女各2箇所。
③	ボイラー用ロングフレキ（保温共）交換。
④	既存和式便器を洋風大便器(TOTO CS670B同等)に改修。
⑤	既存ライニング撤去、乾式ライニングに改修。嵩上げ土間Coを下げた後、既存小便器を設置する。 小便器廻りをシールすること。 ハイタンク及び配管類を撤去し、穴埋めまたはプラグ止めとする。
⑥	既存ブースを撤去、トイレブース新設。男子2ブース、女子5ブース。女子1箇所引き戸に改修し、1箇所をSKに改修する。2連紙巻器を新設ブース内に設置。 床を複層ビニル床シート(t=2mm)、排水口、点検口を床レベルに合わせること。
⑦	既存便所アルミドアを新規に取替。マスターキーとする。
⑧	φ32バルブそのまま。便所内で接続できる場合は、小便器用(φ20)を分岐(φ15)させる。

特記事項
1
2
3

承認	所長	担当	設計

縮尺　S=1:50
原版用紙ｻｲｽﾞ　A1ｻｲｽﾞ

工事名称　春日居小学校プール付属施設改修工事
図面名称　機械設備改修平面図（付属棟）

M-01